

ティーチング・ステートメント

所属 義肢装具学科
名前 草野 真暢
作成日 2023. 3. 13

【責任】

保健医療学科の授業として、義肢装具学科の医学概論、リハビリテーション医学、看護学科の解剖生理学Ⅰ、Ⅱ、疾病治療論Ⅰ、Ⅱ、理学療法学科の一般臨床医学を担当している。その他に、全学の新生全員を対象に防煙教育を担当している。

【理念】

医療に関連する情報を自ら収集したうえで自らの意見をもつ医療人を育成する。臨床現場での判断力、実践力を習得することを目標とする教育を行う。自身の健康管理に対して責任を持つ医療人、卒業生を育成する。

【方針・方法】

方針1 授業や自己学修を通して臨床の現場をイメージする習慣を身に付けてもらう。

- 方法1 基礎となる医学知識に関しては教科書に即して授業を行う
- 方法2 臨床実習の要素を取り入れるためにDVDを視聴し解説する
- 方法3 授業内容に関連した自身の臨床経験を紹介する
- 方法4 インターネットなどで得られる最新の情報を授業で紹介する

方針2 分かりやすい、役に立つ、考える、双方向の授業を行う。

- 方法5 教科書に即した授業を行い、授業資料はすべて事前に配布する
- 方法6 DVDを視聴し解説する
三次元の画像やアニメーションを用いることで理解が深まる（解剖生理学）
臨床の現場をイメージすることができる（医学概論、リハビリテーション医学）
臨床検査の現場をイメージすることができる（一般臨床医学）
- 方法7 授業終了前に数分間の時間を確保し質問、感想をUNIPAで提出してもらう
- 方法8 全ての質問に対するQ&A集を作成し全員にフィードバックする

方針3 医療情報のリテラシーを高める。

方法9 情報源の信頼性を確認すること、批判的な視点をもつことの重要性について説明する

方針4 防煙教育を通して学内禁煙であることを周知し、従来タバコと新型タバコのリスクについて啓蒙する。

- 方法10 従来タバコに関する説明はDVDを用いる（10分）
- 方法11 新型タバコに関する動画を新規に作成する（15分）

【成果・評価】

授業の感想では、動画の視聴と解説が解剖生理の理解や、実際のリハビリテーション、臨床検査の現場をイメージするのに役立つとの意見が多くみられた。授業評価アンケートでは、質問に対するQ&A集の公開を評価するコメントがみられた。

【目標】

・臨床現場の情報や自身の臨床経験を伝えることで学生に学修意欲を高めてもらう。（毎

回の授業の目標)

- ・ 学生の中から現場で仕事をする将来の自分をイメージしてもらう。(卒業までの目標)
- ・ 学修しやすい情報提供と授業環境を提供することで国家試験合格に繋げる。(卒業までの目標)
- ・ 医療に関連する情報を自ら収集したうえで自らの意見をもつ医療人を育成し続ける。(長期目標)